

## 特別顧問・特別参与が従事する職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：教育委員会事務局 教育政策課】

議 題	令和3年度第1回大阪市総合教育会議
日 時	令和3年6月29日(火) 15時30分～17時30分
場 所	大阪市役所本庁舎 屋上会議室
出席者	(特別顧問・特別参与)： 大森特別顧問 (職員等)： 市長、教育長、森末教育委員、平井教育委員、巽教育委員、大竹教育委員、栗林教育委員、西村事務局顧問 教育委員会事務局(教育次長、理事兼政策推進担当部長、教育監、総務部長、指導部長、総務課長、ICT推進担当課長、首席指導主事、ほか) 政策企画室(政策企画室長、政策企画室理事、企画部長、ほか)
論 点	(1) オンライン学習の実施に向けた課題対応について (2) 次期大阪市教育振興基本計画について
主な意見	(論点1) ・ICTの活用は、学力向上等の教育効果の科学的根拠（エビデンス）のある使い方に焦点化し、学習者の理解度等に応じて即座に個別最適化したフィードバックを行う、アダプティブ・ラーニング型のデジタル教材を活用すべきである。 ・アダプティブ・ラーニング型のデジタル教材の活用は、自律的な学習習慣の確立に役立つものである。 ・1人1台端末を活用し、端末を持ち帰って学習するということは必須で、授業においてデジタル教材を活用する自学自習の時間を授業時間中に組み込むということが重要となる。 ・大阪市の教育行政として、教育DXについて打ち立てるべく、デジタル教材活用などの行動計画を急ぎ策定すべきである。 ・デジタル教材の活用について、全ての先生に研修を行い、活用が始まってから使用状況の実態把握をする。子ども一人ひとりのレベル、それから先生一人ひとり、それから各学校での実際の使用状況を把握できるようにすること必要である。 (論点2) ・めざすべき目標は、いじめや暴力から子どもを守る安全・安心な学校、そして、落ち着いて勉強できる環境の中で、子どもたちの学力を向上させること、である。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間格差や全国との格差を含む学力向上の課題を直視して、真剣に取り組まなければならない。</li> <li>・新計画において、特に重視すべきことは、「読むこと」である。</li> <li>・大阪の子どもたちにとって、読解力の向上というのは、ずっと大きな課題であり、現在も喫緊の課題である。小学校で読解力が十分に身に付かないと、その後の学習や社会生活で大きな課題を抱えることになる。</li> <li>・説明的な文章の読解を中心とする学習活動によって、自律的な学習環境、読解力をベースとした思考力・判断力・表現力などを育成する、その授業時間を毎週、少なくとも1時間、全市的に確保すべきである。</li> </ul>
結 論	会議での意見を踏まえ、検討を進める。
資 料	<a href="https://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000539177.html">https://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000539177.html</a>
関係所属	教育委員会事務局、政策企画室